

平成26年9月教育委員会会議の要旨

1 日時

平成26年9月26日(金) 13時30分～15時20分

2 場所

山口市役所別館1階第2会議室

3 出席委員

大野委員長、國弘委員、宮原委員、横山委員、佐々木委員、竹内委員、岩城委員(教育長)

4 事務局

山根教育部長、田中教育部次長、眞砂教育総務課長、江山学校教育課長、
上村社会教育課長、原田文化財保護課長、中原中央図書館長、清水教育施設管理課主幹、
小野教育総務課主幹、中村教育総務課主査

(議案)

○議案第1号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書について」

(概要)

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書について、承認された。

1. 内容

・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して、議会に提出するもの

(主な意見や質疑)

なし

○議案第2号「山口市社会教育委員の委嘱について」

(概要)

山口市社会教育委員の委嘱について、承認された。

1. 内容

・社会教育法第15条及び山口市社会教育委員の設置に関する条例の規定により、社会教育委員を委嘱するもの

(主な意見や質疑)

質問： 公募委員を募集しているが、何人から応募があったのか。

回答： 男性4人である。

(報告事項)

○報告第1号「平成26年9月定例会市議会の審議結果等について」

(概要)

平成26年9月定例会市議会の審議結果等について、事務局から報告があった。

1. 内容

(審議結果)

・大歳小学校屋内運動場・給食室増改築工事、宮野小学校プール増改築工事、仁保中学校屋内運動場増改築工事の3つの契約締結の議案についての可決

(概況報告)

- ・市立幼稚園における3歳児保育の実施
- ・全国学力・学習状況調査
- ・タブレット端末を活用した教育研究事業の進捗状況
- ・イングリッシュキャンプの実施状況
- ・山口市歴史民俗資料館の休館

(主な一般質問)

- ・青少年のネット利用
- ・キャリア教育
- ・日本一本を読むまち
- ・通学路の安全対策

(主な意見や質疑)

質問： 各中学校区における9年間のキャリア教育構想の作成については、どのようにして進められていくのか。

回答： 小学校、中学校それぞれのキャリア教育担当が集まる小中連携の研修会の中で、各地域における9年間の計画を作成しているところであり、その作成したものを学校運営協議会に提示し、承認を受けて進めていくようになる。

質問： タブレットの使用については、モデル校2校の結果に基づいて、次年度以降の取組につなげていくと思うが、来年度は、そのモデル校をある程度増やす予定があるのか。

回答： 予算が絡み、なかなか難しいところがあるため、現時点では、引き続き、モデル校2校でタブレットを使った授業を実施し、他の学校では使えるような環境整備を進めていきたいと考えている。

○報告第2号「平成25年度教育費決算の概要について」

(概要)

平成25年度教育費決算の概要について、事務局から報告があった。

1. 内容

予算現額 56億3,957万6,937円、支出済額 51億8,088万3,877円、
執行率 91.9% (繰越を除くと、95.5%)、翌年度への繰越額 2億1,186万4,000円、
不用額 2億4,682万9,060円

(主な意見や質疑)

なし

○報告第3号「平成25年度山口市奨学基金の運用状況等について」

(概要)

平成25年度山口市奨学基金の運用状況等について、事務局から報告があった。

1. 内容

・基金の運用状況

平成25年度末現在高 貸付金 2,188万5,000円、現金 6,974万1,115円

平成25年度中増減高 貸付金 377万5,000円、現金 △353万3,000円

・奨学生の採用状況

応募人数は5人で、うち奨学生として採用した者は2人

(主な意見や質疑)

質問 : 奨学金を受ける対象については、大学生のみであるか。高校生も対象になるのか。

回答 : この奨学金の資格については、学校教育法に規定されている短期大学、大学、それから大学院、高等専門学校または専修学校の専門課程に在籍する方となっている。

質問 : 貸与する奨学金は、月額はいくらとなっているのか。

回答 : 月額4万円以内で、5千円単位で貸与することができる。

質問 : 借りた奨学金の返還期間は決まっているのか。

回答 : 借りた期間の2倍の期間で返すことになっている。

質問 : 山口市の奨学金制度には、ここが利用しやすいというような特徴があるのか。

回答 : 他の奨学金は年度末までの募集が多いが、山口市の奨学金は募集期間が4月から6月までとなっており、他の奨学金と募集期間がずれているため、例えば、奨学金の申請を失念された方や、他の奨学金の採用にもれた方を救えるところが特徴になろうかと思う。

○報告第4号「社会教育委員会議の協議内容について」

(概要)

社会教育委員会議の協議内容について、事務局から報告があった。

1. 内容

・若者学びの広場開催事業の活動紹介

【阿東地域】「阿東地域の若手の講師に学ぼう」

マクロビオテックという食生活法からスタートして、最終的には、みんなで盆踊り大会を企画し、参加していく形で進めていくもの。

【大内地域】「朝活」

朝7時から8時までの1時間を利用して、出勤前に朝食をとりながら、TYSのアナウンサーや毎日新聞の記者など、各種方面の講師と朝食会を行うもの。

【湯田地域】「日本酒講座」

湯田で長年酒屋を営んでいる方を講師に、日本酒の成り立ちや種類、製造方法を学習した中で、味わい方等も含めて研究していくもの。

(主な意見や質疑)

質問 :	それぞれのくらの参加者がいたのか。
回答 :	いずれも10人程度である。
質問 :	参加者の年齢に制限はあるのか。
回答 :	基本的には有職者で、年齢は限定せず、各地域交流センターに任せている。

(協議事項)

○協議第1号「全国学力・学習状況調査結果の公表について」

(概要)	全国学力・学習状況調査結果の公表について、事務局から提案があり、協議した。
1. 提案理由	全国学力・学習状況調査結果の公表内容等について協議するため。

(主な意見や質疑)

意見 :	「教育なら山口」を目指すための方法として、「成果を上げた取組の一例」については、学校名を載せて公表することから、小学校、中学校の教員研修会等でその学校の取組を発表し、市内の先生方が学び合い、先生個人の資質も含めたレベルアップをしていただきたい。
質問 :	児童生徒がまだ慣れていない「B問題」への取組としては、どのようなものがあるのか。
回答 :	児童生徒に慣れさせる意味で、問題を少しずつ区切った形のプリントや、グループで意見をまとめ、お互いに発表し合う授業に取り組んでいる。また、「山口学習支援プログラム」の問題にも取り組みながら、活用力を高めていくようにしている。
質問 :	「成果を上げた取組の一例」に取り上げられた学校は5校であるが、これより増やすことはできるのか。
回答 :	学校を増やしていくと、自分の学校でもそれくらいはやっているとなってしまうため、しっかり事務局でその成果を捉えらえるもののみとしている。学校には、独自の取組により、成果を上げたことを事務局にアピールしてもらい、いろいろな学校を取り上げていきたいと考えている。
質問 :	「成果を上げた取組の一例」については、その因果関係を特定することはなかなか難しいところがあるが、学校にそれをよく確認した上で、ホームページに載せられるのか。
回答 :	その取組を載せるにあたっては、学校にその因果関係を否定されないことがないよう、校長とよく話をしながら作成している。また、その取組については、これからも自信を持って取り組んでもらうようにしたい。